

南部藩志会主催

(資料)

## 第24回 文化講演会

各社刊行物連載：夢中翁がたり 盛岡歴史メモ 市民暮らし物語から (山田公一)

明治の観光案内を載せさせていただいたら、昭和初期の同様なものをというご要望があった。岩手は1930年代後半から金融恐慌と大凶作、大津波とたて続く災害に困窮していたが、何とか観光で生き延びようと官民挙げて観光資料のデータを集め情報発信につとめていた時代の貴重な資料原文からご紹介する。

盛岡あたご山に栗山大膳の立派な墓碑がある。大膳は天正十九年(1591年)豊前の国、下毛郡に生まれた人で幼名を五兵衛といった。十六歳にして黒田長政公に仕え、同公の薨ずるに及んで公の遺命により嗣子忠元公を補佐し、藩政を改革せんとしたが、奸臣などは藩公を酒色に溺れさせ忠臣の大膳を誣告することが多く、困り果てた大膳は江戸へ登って幕府に訴え出た。初めて真相が究明されたが当時の封建体制では大膳親子が流刑と決まった。

寛永十年(1633年)南部28世重直公の領土奥州盛岡に預けられた。有名な「黒田騒動」の当事者が南部藩に与えた影響は同様の理由で盛岡にやってきた対馬藩外交僧「方長老」とともに大きい。盛岡駅から本町線などのバスがあり文化橋停留所が便利で案内板もある。